

輪島市地域公共交通会議 第3回協議会

日 時 令和5年7月25日(火) 午前11時より

場 所 輪島市役所 本館3階大会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

議案第1号 輪島市地域公共通計画(案)について

議案第2号 デマンド実証運行(案)について

3. 閉 会

第3回 輪島市地域公共交通会議 議事録

日時：令和5年7月25日（火）
午前11時00分～午前11時40分
場所：輪島市役所本館3階大会議室

【輪島市地域公共交通会議 委員 20名】

（出席：16名）

- ・[会長] 輪島市長 坂口 茂 委員
- ・[副会長] 輪島市社会福祉協議会 上島 忠雄 委員
- ・輪島市区長会長会 久保 敬夫 委員
- ・輪島市民生委員児童委員協議会 谷 由夫 委員
- ・国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局 高橋 良一 委員
- ・国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局 高橋 岳大 委員
- ・石川県企画振興部新幹線・交通対策監室交通政策課 石黒 祐介 委員
- ・石川県土木部奥能登土木総合事務所維持監理課 細川 恒延 委員
- ・一般社団法人北陸SDGs総合研究所 武田 幸夫 委員
- ・北鉄奥能登バス株式会社 越山 誠 委員
- ・輪島市タクシー事業者会 町元 和夫 委員 （代理出席 町元氏）
- ・へぐら航路株式会社 藤田 健市 委員
- ・輪島市建設部 福尾 原悟 委員
- ・輪島市健康福祉部 刀称 真裕美 委員
- ・輪島市教育委員会 柿本 二美代 委員
- ・市立輪島病院 河崎 国幸 委員

（欠席：4名）

- ・輪島市区長会長会 竹林 耿郎 委員
- ・石川県警輪島警察署交通課 坂本 謙太 委員
- ・輪島商工会議所 久岡 政治 委員
- ・門前町商工会 沢田 隆 委員

【事務局】

- ・輪島市企画振興部 企画課：木下部長、田中課長、浅野主幹

【第3回 輪島市地域公共交通会議 会議次第】

1 開会

2 議事

議案第1号 輪島市地域公共交通計画（案）について

議案第2号 デマンド実証運行（案）について

3 閉会

[開会挨拶]（挨拶：坂口会長）

本日は大変な中、第3回輪島市地域公共交通会議にご出席を頂きまして誠にありがとうございます。本日は、これまでに2月、5月に開催された2回の協議会の内容を精査し、輪島市地域公共交通計画（案）とデマンド実証運行（案）について、皆様にご審議して頂きたいと思えます。デマンド実証運行については、7月11日に国交省から採択を受けました。詳細については、ご説明致しますので、合わせて忌憚の無いご意見を頂ければ幸いです。よろしくお願ひ致します。

	<p>[2. 議事 議案第1号 輪島市地域公共交通計画（案）について ：質疑・意見交換]</p> <p>（事務局 資料説明）</p> <p>計画案については、皆様の承認を頂いた上で市のホームページ上で公表し 30 日間の意見募集期間を設ける予定である。意見があった場合、内容と市の方針を皆様に書面でご報告いたします。</p> <p>84 頁の①公共交通の利用者数目標値で、令和 10 年、令和 15 年にそれぞれ目標値が記載されており、設定目標が高いように感じる。タクシー事業者からすれば、タクシー利用者の減少を裏付けているのではないかと思う。</p> <p>過去には、商工会議所でのカートの件もあるので、常にタクシー事業者にも情報共有をお願いしたい。</p> <p>最終年の目標値については、85 頁に記載されているようにどの路線もコロナ禍前の水準に戻すことを目標としている。人口減少など様々な要因はあるが、目標値はコロナ禍前の水準まで戻すことを目標としている。</p> <p>そういった意味では決して高い目標ではないかもしれない。</p> <p>人口減少が進む中、コロナ前に戻すことは難しい。民間と行政が共存共栄できれば良いと思う。</p> <p>2 回の協議会を経て、計画（案）を提出してもらった。77 頁の整備方針に、地域公共交通確保維持事業、補助対象フィーダー系統について記載されているが、来年度のフィーダー系統の申請からは地域公共交通計画にフィーダー系統の補助事業と連動化として、役割、必要性、目標の記載が必要となっている。現在、北陸信越運輸局（本局）の担当に確認してもらっている最中である。そのため、記載について追加や修正があれば、HP に掲載前に調整が必要な可能性があることを了承してほしい。</p> <p>追加や修正があれば、相談しながら進めていきたいと思う。</p>
町元委員 代理：町元氏	
事務局	
坂口会長	
町元委員 代理：町元氏	
高橋（岳）委員	
事務局	

坂口会長	<p>修正があるかもしれないことを、皆さんもご了承していただきたい。</p>
町元委員 代理：町元氏	<p>珠洲市が先行して進めているが、法的に問題がないよう、補助にも対応にできるように運輸局と調整して進めたら良いと思う。 町野での実証運行に関しても調整しながら行って欲しい。</p>
坂口会長	<p>意見として承ります。 他に意見、質問が無いようですので、議案第1号は承認とする。 高橋（岳）委員からの意見も合わせて、修正も市に一任して頂ければと思う。</p> <p>[2. 議事 議案第2号 デマンド実証運行（案）について ：質疑・意見交換]</p> <p>（事務局 資料説明）</p>
武田委員	<p>乗車率、利用者を増やすために、わじま次世代交通ネットワーク協議会の中に、社会福祉協議会が入っていることは良いことだと思う。交通はあくまでも、何らかの目的のための手段であり、出かける機会をつくることが重要である。高齢化社会においては、健康増進のような機会があれば良いと思う。出かける機会や健康増進の場づくりをする中で交通システムがあれば、住みやすいまちづくりになるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>外出する機会の創出は非常に重要だと考えている。実施体制の中には、社会福祉協議会の名前を記載している。今後一緒に行っていければと思っている。実施体制には記載していない事業者においても協力してもらい、高齢者やそれ以外の方々の外出機会を拡大することを今後展開していきたいと考えている。</p>
坂口会長	<p>他に意見が無いようなので、議案第2号は承認する。本日の協議会で付託された議案は以上である。その他公共交通について意見や質問等があれば、発言をお願いしたい。</p>

事務局	<p>今回の計画（案）には、各バスの接続状況の資料を追加した。既存の公共交通との接続の関係性を示したものである。市だけで調整できる部分と調整できない部分があるため、バス事業者の協力も必要となる。各公共交通機関が現在の接続状況、運行時間帯を見直すことができれば、よりよい交通体系が構築できるのではないかと思う。既存の交通体系、運行時間帯については、協議を重ねていきたいと思う。引き続きご協力をお願いします。</p> <p>3回の協議会で十分な議論が尽くされたとは言えないかもしれないが計画を少しでも実効性のあるものにしていきたい。様々なご意見を頂き、それらを活かして市民、事業者にとって利用しやすい交通体系を構築していきたい。策定まで少し時間があるため、ご意見があれば頂きたい。</p> <p>以上をもちまして第3回協議会を終了します。</p>
-----	---

以上



デマンド実証運行について

【経緯・概要】

平成 23 年以降、路線バスや特急バスの廃止が複数路線で見られ、代替えとしてスクールバスに混乗する「愛のリバス」や外出支援を促す「おでかけバス」の運行を行ってきた。このような定時定路線の運行では交通空白地帯の解消は困難であることから、デマンド交通の実証実験を実施するもの。

※ 国の令和 5 年度共創モデル実証プロジェクト補助採択済み（7/10 採択可否の通知予定）。

補助率：補助対象経費の 2/3（上限 1 億円）

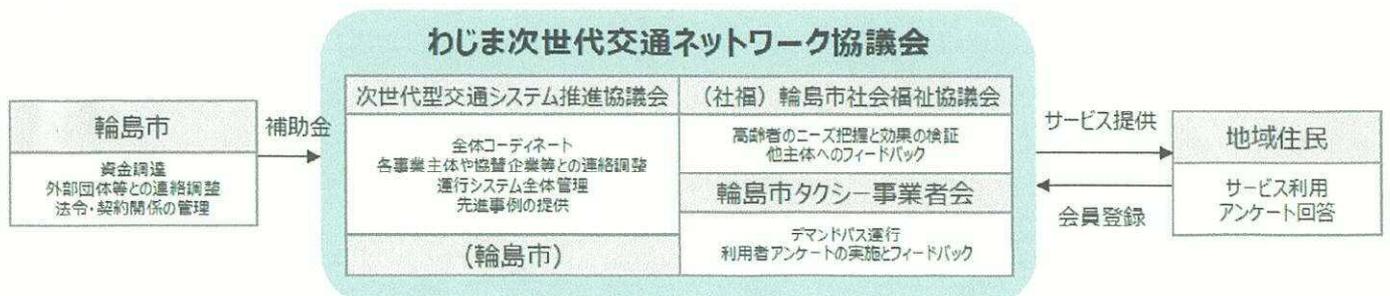
要件：地域における複数の関係者の「共創」（連携・協働）により行う交通の実証事業

【実施エリア】 東部地区（鶴巣地区・南志見地区・町野地区）



【総事業費】 14,560 千円

【実施体制】



【実証期間】 令和 5 年秋～令和 6 年 1 月 31 日

【利用料金】 300 円（高校生以下無料）